

宝木校区 人権推進協議会

地域社会と人権、そして
気高に子ども食堂がオープン

会長 秋山 智博

私達の暮らしを支える福祉が変わろうとしています。現在は、高齢者・障害者・子ども・生活困窮者などそれぞれに公的支援が分かれていますが、対応できていない現状にあります(制度の狭間にある課題など)。そこで、支援を必要とする住民が抱えている地域生活課題を、住民や福祉関係者が把握し、関係機関との連携によって解決を図っていくこととしています。このように地域で支え合う力と公的支援との両輪で地域課題の解決をめざす「地域共生社会づくり」が鳥取市においても始まろうとしています。

この地域共生社会づくりは、地域懇談会で取り上げている共生を妨げ



ている差別を解消することは必須という活動と軌を一にしています。福祉課題の解消と人権尊重確立の道は一体です。さらに取り組んでいきましよう。

また、この地域共生社会の一端となる『子ども・地域食堂』が気高地域でも7月23日のオープンを目指し、有志の方々により取り組まれています。支援者の募集や多くの方に利用していただけるようにピーアールしています。(このページの最下段参照)



人権とは

人権啓発推進員 小塩 信親

人権尊重、人権活動、人権運動等々私達は「人権」という言葉をよく見聞きします。

又、子供の人権、障がい者の人権、被(加)害者の人権等、「〇〇の人権」という表現に触れることも多くなりました。しかし、あらためて「人権とは何なのか?」と問われても、はつきりとしたイメージを共有できないというのが実状ではないでしょうか。その為、多くの人々が「人権は大切なもの」という認識をしているにもかかわらず、なぜ大切なのかよくわからないという「実感のない人権感」が広く社会に蔓延しているように思います。



そもそも人権とは、もの本によると「人間が人間として生来持っている、生命、自由、平等などを保障される権利」とあります。しかし、この表現が漠然としており、人により受け取り方が微妙に異なるのではないのでしょうか? この差が〇〇ハラスメントを生む一因になっているようにも思われます。「人権」便利な言葉である故に



非常に使い方が機微に感じられることでしょうか。

地域共生社会と人権 気高に子ども食堂がオープン

冒頭でも紹介したようにけたかに、子ども食堂がオープンする予定です。



けたか大好きな子どもたちを育むことを目的とし、「けたかくろり子ども食堂」を実施し、食事の提供、学習支援、相談支援を行います。



対象者はけたかに住む地域住民の方だけに限定していません。それは、色々な人たちに子ども食堂のことを知ってほしいという思いがあるからです。

毎月第1・3金曜日実施を予定しており合計18回実施する予定です。

部落選出人権学習推進員

平成30年度

上光	岡田 寿浩
	高浜 耕之輔
下光元	植田 繁夫
	北村 正雄
夏ヶ谷	松本 隆寿
	山本 礼子
常松	北村 公
富吉	村上 勲
宝木部落	木下 茂
	福井芳宏
水尻部落	鯉口 玉則
	梅原 徹
奥沢見	谷中 健美
酒津	西垣 守
	澤田 保男

役員名簿

平成30年度～31年度

会 長	夏ヶ谷	秋山 智博	解放同盟気高支部長	
副 会 長	富吉	吉田 和行	宝木地区公民館長	
	酒津	西垣 守	酒津地区公民館長	
人 権 啓 発 員	夏ヶ谷	秋山 智博	解放同盟気高支部長	
	宝木	藤本 高一	解放同盟気高支部役員	
	宝木	小塩 信親	人権啓発推進員	
部 落 代 表 事	酒津	西尾 雅彦	部落区長・福祉委員 気高地域振興会議委員	
	上光	岡田 寿浩	部落区長・福祉委員	
	下光元	植田 繁夫	部落区長・福祉委員	
	夏ヶ谷	松本 隆寿	部落区長・福祉委員	
	常松	北村 公	部落選出人権学習推進員	
	富吉	村上 勲	部落区長・福祉委員	
	宝木	木下 茂	部落区長・福祉委員	
	水尻	鯉口 玉則	部落区長・福祉委員	
	奥沢見	谷中 健美	部落区長・福祉委員	
	監 査	酒津	瀧本 昭良	地域福祉推進協議会理事
		夏ヶ谷	居川 結香	気高人権福祉センター
顧 問	酒津	河根 裕二	保 護 司	
	上光	岡田 寿晃	学 識 経 験 者	
事 務 局	宝木	奥田 真樹子	宝木地区公民館	
	酒津	涌嶋 洋一	酒津地区公民館	

平成30年度
事業予定

＊小地域懇談会

9月頃より各部落で開催予定です。今年度は多くの方が直面する課題「仕事と介護の両立のために」をテーマに、DVD を視聴しながら学習したいと伺います。

皆さんの参加を
お待ちしております。



平成30年度 事業計画

期 日	会	研 修	広 報
4月	監査会		
5月	総会・三役会		
6月			人推協だより発行
7月		推進員全体研修会	
8月	三役会 役員会	各	講座・集会・大会
9月		小地域懇談会	
10月			
11月			
12月	三役会	推進員全体研修会	
1月	役員会		
2月			
3月	三役会	交流会	人推協だより発行

編集後記

人権問題の中で取り上げられる言葉「シエンター」をご存知でしょうか。「社会的・文化的性差や、女性らしさ・男らしさ」のことを指すようです。これまで、こうした性差は生まれながらのものであると思われていましたが、これらはむしろ社会的・文化的に作られてきたものなのです。シエンターは、私たちの意識や生活にとけこんでいて、習慣に縛られたものの方や、言動をしていることであり、このような状況をなくして